

工事名称 ○○ 工事

湿式防振床(ビブラン-臼)+ウレタンエラストマー
系防振材 工事施工要領書

2021年 1月

施

工



株式会社 関西エンジニアリング

〒631-0837 奈良県奈良市若葉台 2-12-4

TEL ○○ (代) FAX ○○

目 次

第1章 総則	3
1. 1 適用範囲	3
1. 2 適用図書	3
1. 3 協議	3
1. 4 関係者への周知	3
第2章 施工計画	4
2. 1 使用材料	4
2. 2 施工フロー	6
2. 3 施工方法	7
2. 4 協力会社自主検査	9
第3章 安 全	11
3. 1 協力会社安全衛生関係管理書類の提出	11
3. 2 安全行事への参加	11
第4章 環境保全	11
4. 1 建設副産物	11
ビブランカタログ	

第1章 総則

1. 1 適用範囲

本施工計画書は、防振床工事(ビプラン E+セルダンパー)に適用する。

1. 2 適用図書

- (1) 特記仕様書
- (2) 設計図

1. 3 協議

上記設計図書に定められた内容に疑義が生じたとき、記載されていないときは、監理者と協議を行い、その決定に基づいて施工する。

1. 4 関係者への周知

本施工計画書は、防振床工事(ビプラン E+セルダンパー)に直接従事する関係者、及び関係する他専門工事会社作業員に説明会等による。

第2章 施工計画

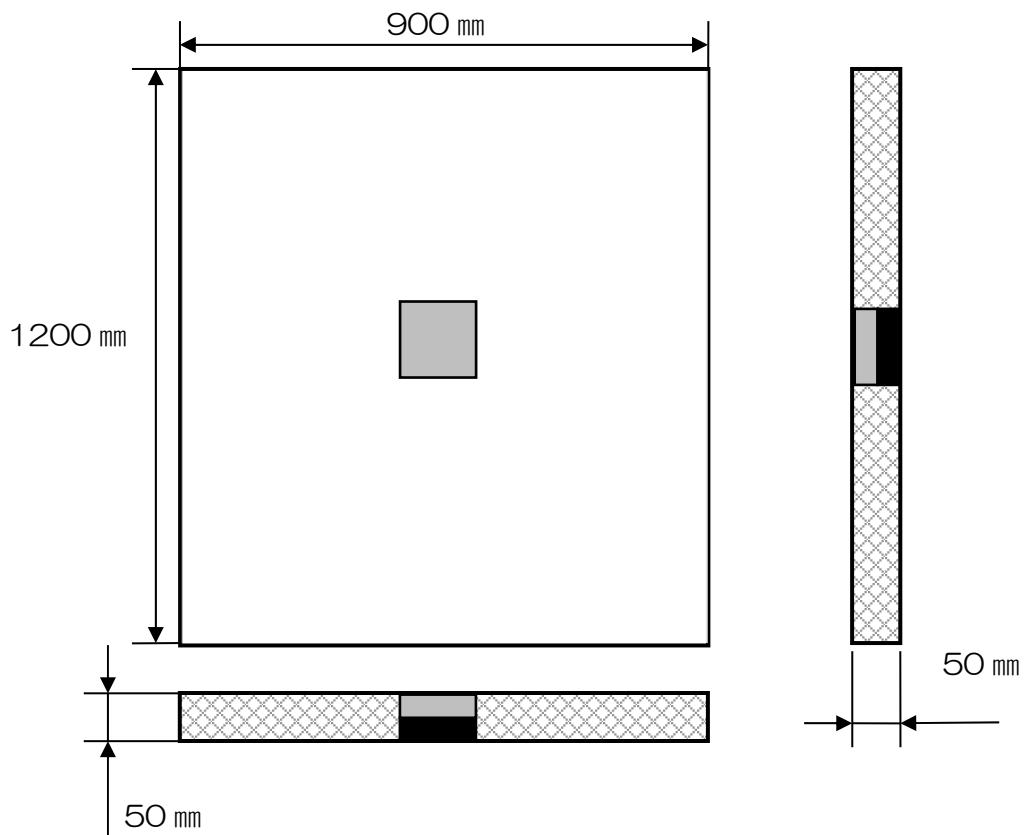
2. 1 使用材料

(1) ビプラン E-60 (200kg/m²)

形状・寸法

E-60 (許容荷重 200 kg/m²) 900×1200×50 mm /枚

※一辺の最小の長さは 50mmとする。



(2) セルダンパー (ウレタンエラストマー系防振材)

形状・寸法 心材

BF-500 100×100×25 mm /枚

※ビプラン中央に四角形の穴あけ後にはめ込む。

PS 桟木 硬質プラ桟木

形状・寸法 心材 (嵩上げ材)

100×100×12 mm /枚 ×2 枚敷き

※ビプラン中央に四角形の穴あけ後にはめ込んだセルダンパーの上に重ねる。

(3) 立ち上がり用 ビプラン E-60

形状・寸法 立上げ材 H=160

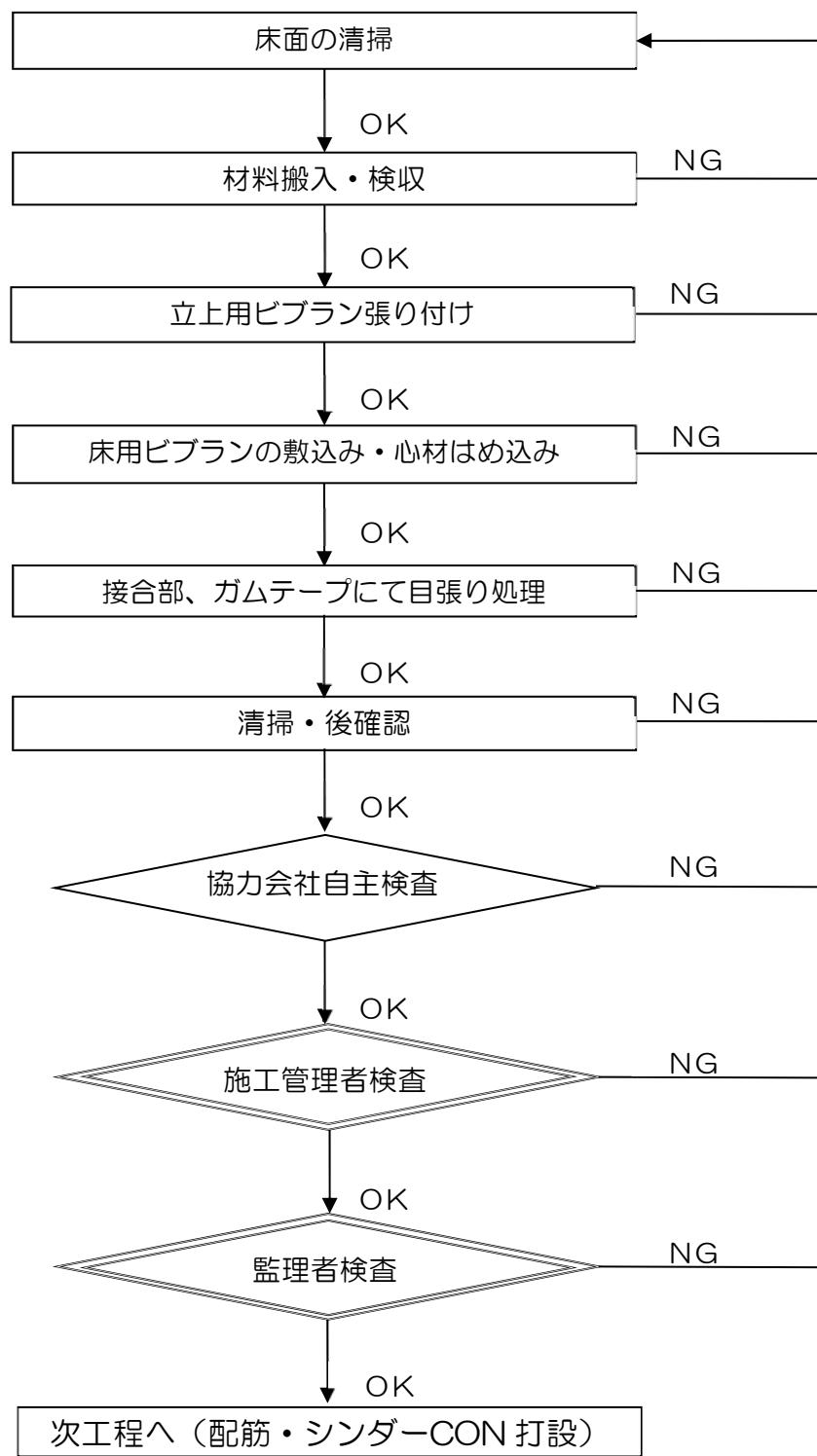
E-60 900×1200×25 mm /枚 (カット)

※一辺の最小の長さは 50mmとする。



※外周部及び基礎回り

2. 2 施工フロー



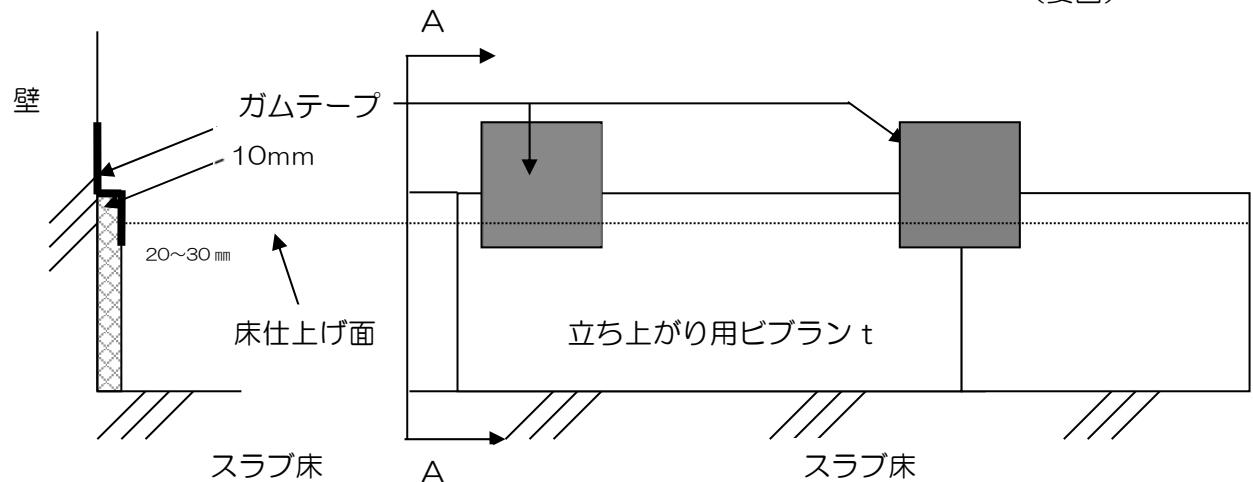
2. 3 施工方法

1. 立ち上がり用ビプラン付け

立ち上がり面に、立ち上がり用ビプラン（厚さ 25 mm）を、ガムテープで固定し取り付ける。
この時立ち上がり用ビプラン下部は床用ビプランで固定するため立ち上がり上部のみ固定する。

高さは床仕上げ面より 10 mm 高くする。（打設完了後にカッターでカットする）

(A-A 断面図)

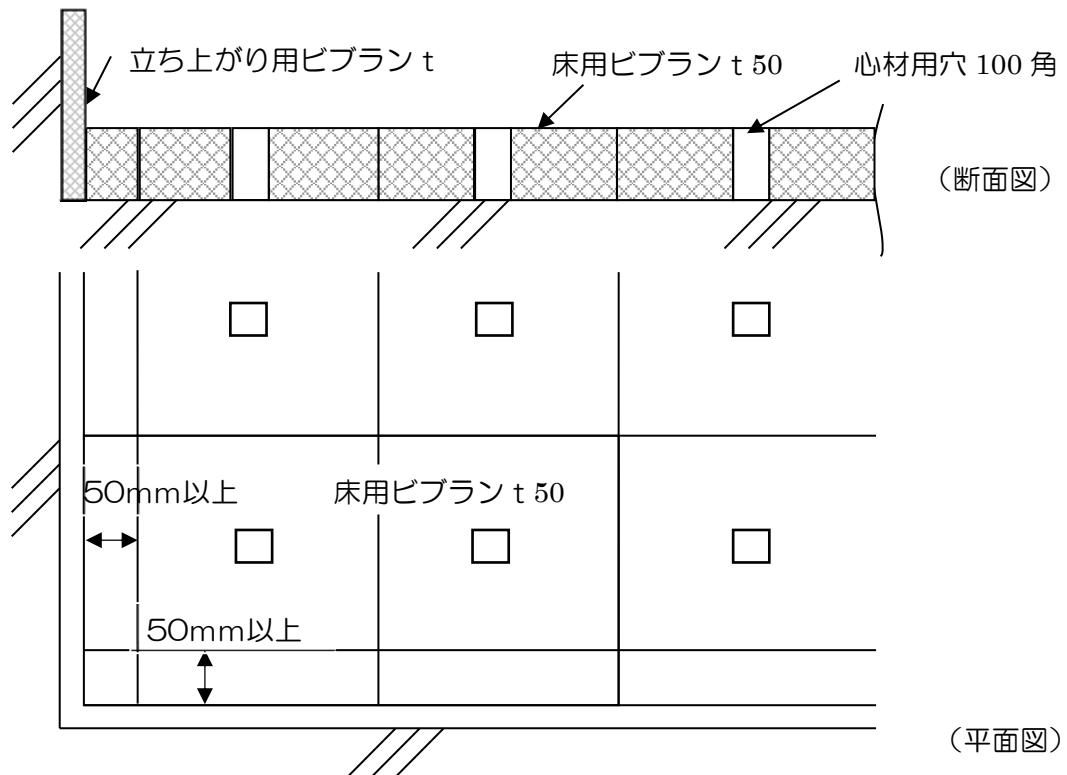


(姿図)

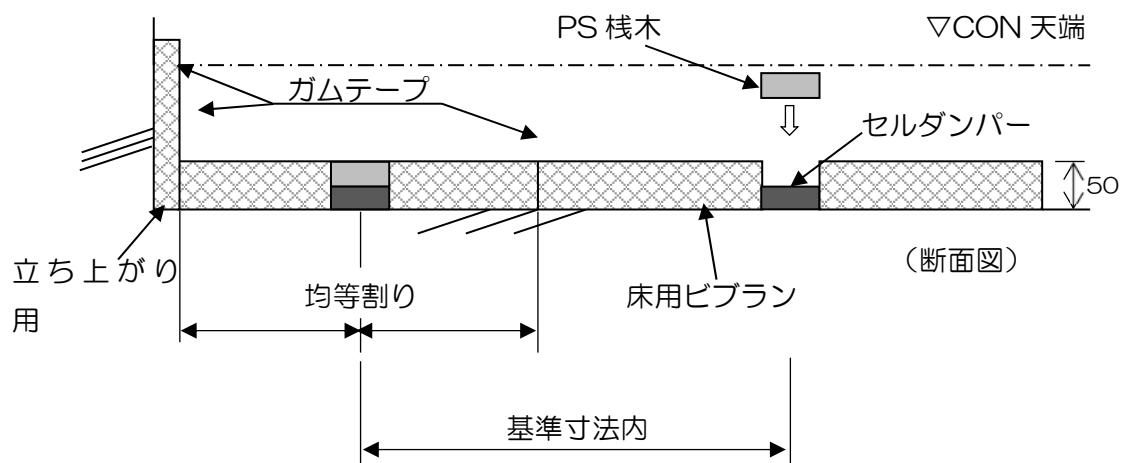
(1) ビプラン E の敷込み

ビプラン E を隙間無く敷きこむ。（片側から追い出し）

上下面是どちらでもよい。（端材は 50mm 以上とする）

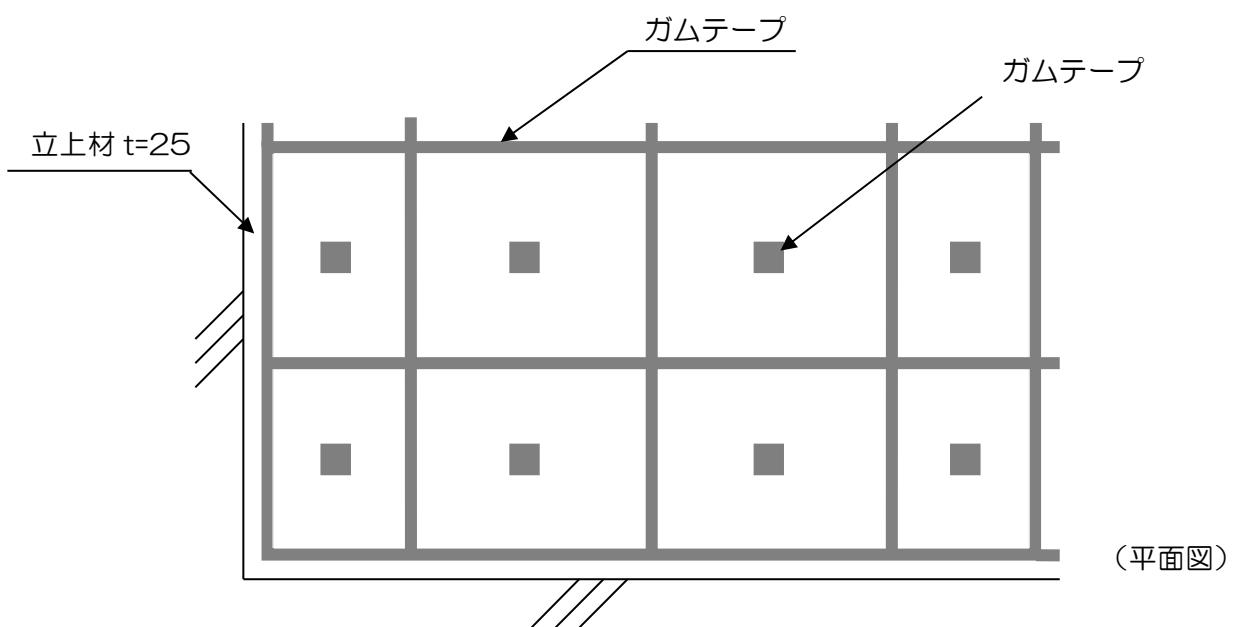
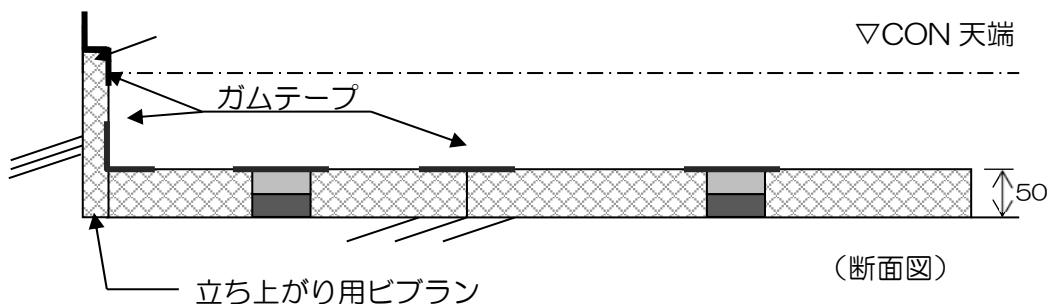


(2) ビプランの穴にセルダンパーをはめ込み後、嵩上げ材を入れる



(3) 接合部をガムテープにて目張り

目地からコンクリート（ノロ）が入り込まないよう、ガムテープで塞ぐ。



品質管理

2. 4 協力会社自主検査

(1) 材料検査

① 材料搬入時、ビブラン E+セルダンパーの各寸法・規格・搬入枚数の確認。

ビブラン E の欠損等の確認。→著しい欠損がある場合は使用しない。

② 下地確認 著しい不陸 モルタルのこぼれ、突起がないか確認をする。

(2) 施工中・施工後の検査

① ビブラン E の不陸面のチェック。→激しい不陸は、めくって下地を確認後に敷き込み直す。

② ビブラン E の欠損のチェック。→著しい欠損がある場合は交換・敷き込み直す。

③ ビブラン E の隙間のチェック。→10mm 以上の隙間がある場合、共材をカットして詰める。

④ ガムテープによる目地塞ぎのチェック。→目地が塞がれていない場合、ガムテープを増し張りする。手工具 ローラーによる圧着

検査結果を協力会社自主検査表に記録して、施工管理者に提出する。

ビブランE+セルダンパー 自主検査表

作業所名 :

検査員

(印)

施工場所	施工前					検査日	施工中・施工後				施工範囲 : 図面の添付		
	材料規格						合 ・ 否	ビブランE+セルダンパー立上用・床用（共通）		ガムテープ	備 考		
	床用 ビブラン- E60 寸法 900× 1200×50	床用 ビブラン- E60 立上用 寸法 900× 1200×50	床用 セルダンパ ーBF500 寸法 100× 100×25	床用 嵩上げ材 硬質ゴム 100× 100×25	欠損 割れ欠けが無 い事			欠損 割れ欠けが無 い事	隙間 隙間なく敷き 詰められてい る事	漏れなく目張 りされている 事			
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	
						/	合・否				/	合・否	

第3章 安 全

3. 1 協力会社安全衛生関係管理書類の提出

- (1) 建設業法・雇用改善法に基づく届出書（変更届）再下請負通知書
安全衛生責任者選任及び職長・作業主任者報告書
- (2) 協力会社編成表
- (3) 新規入場者就労報告書（但しグリーンカード所持者は提出不要）
- (4) 持込機械等（電動工具等）使用届
- (5) その他の関係書類（免許・資格証の写し（但しグリーンカード所持者は提出不要）。
年少者及び高年齢者就労報告書他）

3. 2 安全行事への参加

- (1) 朝礼
- (2) 安全大会
- (3) 安全衛生協議会
- (4) 新規入場者教育
- (5) 工程打合せ会等

第4章 環境保全

4. 1 建設副産物

工事の施工段階において、施工計画を含め省資源、省エネルギー等の環境保全の促進に努力する。

- (1) 建設副産物の低減
施工図・製作図の精度の向上を計り、完成品納入を促進する。やむを得ない部分以外は作業所での加工・組立を極力減らし、建設副産物の低減に務める。
- (2) リサイクル及び適正処理
作業所での組立時に発生した余剰材等は施工場所に集積し、作業終了時に指定されたコンテナ等に回収し、リサイクルに務める。
- (3) 分別収集
ダンボール、生活ゴミ、空缶等は、作業所で定める指定の場所に分別集積し、リサイクルに務める。
- (4) 周知徹底
作業従事者全員に上記の目的とするところを周知すると共に、環境教育、人材育成を積極的に行い、環境保全活動の定着、向上に努力する。